ぴゅあ総合・峡南・富士 3 館共催事業

平成 27 年度

男女共同参画基礎講座

キャンパスネット
やまなし連携講座

「男女共同参画社会」とは、男性も女性も互いの人権を尊重し、且つ、責任を分かち合い、ひとりひとりが個性と能力を十分に発揮することが出来る社会のことです。
少子高齢化や労働力人口が伸び悩む中、従来の「男は仕事、女は家庭」といった固定的な役割意識に縛られることなく、家庭や職場、地域でみんなが力を合わせ、より良い社会とするため、男女共同参画について、様々な視点で基礎から学習します。
市町村の男女共同参画推進委員、担当職員、民間活動団体の方、また男女共同参画について興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。この機会に一緒に学びませんか。

日時：2015.5 月 22 日 (金)

① 基調講演　13:30 ～ 15:10
② ディスカッション　15:10~16:30
会場：ぴゅあ総合・大研修室
対象：市町村男女共同参画推進委員
担当職員、民間団体、一般県民
（定員 80 名）

① 基調講演
「男女共同参画が地域課題解決に果たす役割」

講師：阿部正浩さん（中央大学経済学部教授）

少子高齢化日本の現状を正確に捉え、人口減少に伴う行政サービス低下やコミュニティの崩壊など、地域が抱える課題の解決に、私たちが取り組むべき男女共同参画推進活動について学びます。

阿部正浩さん

1966 年 4 月、福島県いわき市に生まれる。1990 年 3 月、慶応義塾大学商学部卒業。
1995 年 3 月、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。2003 年 1 月、慶應義塾大学博士（商学）。
1995 年 4 月から（財）電力中央研究所主任研究員。1998 年 4 月から一橋大学経済研究所助教授。2000 年から獨協大学経済学部専任講師、助教授、教授を経て、2013 年から現職。
専門は労働経済学、計量経済学、経済政策。
現在、厚生労働省「労働政策審議会」委員、厚生労働省「政策評価に関する有識者会議」委員、厚生労働省「雇用政策研究会」委員、内閣府「仕事と生活の調和連携推進・評価部会」委員、などを兼務。
主な著作に、第 49 回（2006 年度）日経・経済図書文化賞および第 29 回（2006 年度）労働関係図書優秀賞を受賞した『日本経済の環境変化と労働市場』（東洋経済新報社）のほか、『日本企業の人事改革－人事データによる成果主義の検証』、（東洋経済新報社、都留康・久保克行との共著）、『労働市場設計の経済分析－－マッチング機能の強化に向けて』（東洋経済新報社、樋口美雄・児玉俊洋との共著）、『キャリアのみかた 図で見る１０９のポイント』（有斐閣、松繁寿和との共編著）がある。

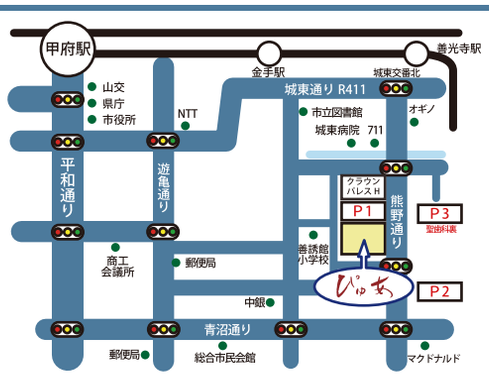
② ディスカッション　～基調講演をふまえて～

「基調講演」の内容を参加者各自の地域におき変えながら、班ごとに課題を共有し、今後の取組についてディスカッションします。

主催・お問合せ

山梨県立男女共同参画推進センター

ぴゅあ総合

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077
〒400-0862　甲府市朝気 1-2-2
sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp

無料託児あります。
6か月～就学前
3日前までに
ご予約ください。